

令和6年度 「学校教育活動に関する評価」アンケートの結果一覧

浦安市立明海南小学校

※アンケート結果は、昨年度に比べて肯定的意見率が5%以上上回っている数値には(↑)、5%以上下回っている数値には(↓)を記しました。

評価領域	本年度の重点目標	具体的取組	アンケート内容とその結果		学校地域連携運営協議会の意見	成 果◎ ・ 課 題▲
			質問項目 児童：(児) 保護者：(保)	結果		
主体的な学び	自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する態度を育成する。	○少人数学習の実施やICT機器の活用等、学習形態や指導方法を工夫して、学習展開する。 ○子どもたちの継続的な成長という観点から、小中合築校舎であることを生かした継続性のある教育活動を展開する。	(児)授業中、すすんで学習していますか。 (児)学校での授業はわかりやすいですか。 (児)外国語の学習は、楽しいですか。	9 1 % 9 0 % 7 5 %	教職員の努力により分かりやすい授業が実践され、児童が主体的に学習していることを保護者が高く評価している点は、大変素晴らしいことと考えます。 さらに、個々の児童の学びへの取り組み姿勢、学習到達度、興味関心に丁寧に目を向け、個別学習計画を充実させることや、必要に応じて保護者と共有することも重要と考えます。これらの点において、ICT機器や教材の活用、多様な体験型学習やグループワークの導入、地域の協力を得たワークショップなど、すでに実践されている活動をさらに発展させ、より深く広く情報発信することが重要と考えます。	◎主体的な学びの推進を図ることができている。学習形態や指導方法の工夫により、授業がわかりやすいと感じている児童が増えている。 ▲個に応じた支援について、保護者の評価が低くなっている。ICT機器のさらなる活用や中学校と連携を図った継続性のある支援により、個々の良さを引き出すような支援の充実に努める。
			(保)お子様は、自分から進んで学ぼうとしていますか。 (保)学校がお子様の学力向上のため、複数教員による指導や少人数指導を行っていることを知っていますか。 (保)教職員は、個々のよさを引き出すよう子どもをよく見ながら、個に応じた支援をしていますか。 (保)お子様は、外国語の学習を通して、外国語に親しんでいると思いますか。	8 3 % 8 8 % ↑ 8 3 % ↓ 8 1 %		
			(児)学校で、まわりの人にやさしくしていますか。	8 7 % ↓		
			(保)お子様に思いやりや優しさ、感謝の気持ちが育っていますか。 (保)本校のいじめ防止基本方針(HP掲載)を知っていますか。 (保)学校はいじめなどのない楽しい学校づくりに努めていますか。 (保)本校に特別支援コーディネーターがいることを知っていますか。 (保)お子様と道徳性につながるような話題をすることがありますか。	9 4 % 6 2 % 9 4 % 7 4 % ↓ 9 2 %		
			(保)学校がお子様の体力向上をめざした取組を行っていることを知っていますか。	6 5 % ↓		
自他を尊重する心	自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う態度を育てる。	○考えて議論する道徳授業となるよう授業研究や資料の収集を積極的に進める。 ○ いじめのない明るい学校となるよう、校内組織を生かすとともに関係機関と連携して対応にあたる。 ○児童にとって実りある「交流及び協働学習」を実践する。	(児)学校で、まわりの人にやさしくしていますか。	8 7 % ↓	今年度、地球温暖化の影響で例年にない異常気象が発生し、熱中症のリスク増加により屋外での活動や運動が大幅に制限されました。統計的な数値からも、今後も同様の暑さ対策が必要な状況が続くと予測されます。暑さ指数が高い日の屋内運動への切り替えや、熱中症対策を考慮した体育活動の見直しが必要と考えます。	◎年間4回「生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見、早期解決に努めている。 ◎校内研究で、明海中や明海認定こども園とともに道徳科を研修し、園小中連携を意識した実践に取り組むことができた。 ▲「まわりの人にやさしくする」項目について、児童の数値がやや低くなっているが、保護者の数値は高い水準を維持している。道徳的な内容について、児童の実感が伴う取組の充実を図る必要がある。 ▲本校の特別支援コーディネーターについて、保護者の認知度が低くなっている。学校だよりや学校HP等を活用して、より保護者に分かりやすい形で、本校の特別支援教育の周知に努める。
			(保)お子様に思いやりや優しさ、感謝の気持ちが育っていますか。 (保)本校のいじめ防止基本方針(HP掲載)を知っていますか。 (保)学校はいじめなどのない楽しい学校づくりに努めていますか。 (保)本校に特別支援コーディネーターがいることを知っていますか。 (保)お子様と道徳性につながるような話題をすることがありますか。	9 4 % 6 2 % 9 4 % 7 4 % ↓ 9 2 %		
健やかな体	命を大切にし、健康に過ごそうとする態度を育てる。	○外部講師を活用した食育授業・命の学習を行う。 ○体育の授業や休み時間において、体育の日常化に向けた取組を行う。	(保)学校がお子様の体力向上をめざした取組を行っていることを知っていますか。	6 5 % ↓	今年度、地球温暖化の影響で例年にない異常気象が発生し、熱中症のリスク増加により屋外での活動や運動が大幅に制限されました。統計的な数値からも、今後も同様の暑さ対策が必要な状況が続くと予測されます。暑さ指数が高い日の屋内運動への切り替えや、熱中症対策を考慮した体育活動の見直しが必要と考えます。	◎体育科の授業を中心に、年間を通して各運動に取り組んでいる。縄跳び週間では、明海中学校の生徒が検定員として参加し、意欲の向上を図っている。 ▲6月から9月にかけて、気温が高く、外での運動が制限される場面が多かった。体力向上に向けた取組にさらなる工夫をしていく。 ▲食育授業や命の教育を保護者と共に取り組む場面を意図的に取り入れる。
			(保)学校がお子様の体力向上をめざした取組を行っていることを知っていますか。	6 5 % ↓		
豊かな心	適切に表現する力を身に付け、人や社会に積極的に関わろうとする態度を育てる。	○進んで自分の思いを表現し、共感的理解ができる児童の育成を目指した研究を行う。 ○様々な集団での異学年交流を行う。 ○あいさつ運動を行う。	(児)すすんであいさつをしていますか。 (児)授業中、話し合い活動にしっかり取り組み、意見をわかりやすく伝えたり、書いたり、人の意見をじっくり聞いていますか。	8 8 % 8 7 %	朝の見守り活動をしていると、児童は皆きちんとあいさつをしてくれます。浦安市内の小学校間であいさつの状況を比較できる資料があれば、ぜひ確認してみたいです。 自治会と連携し、地域全体であいさつ運動を実施できると良いと考えます。	◎園小中の多様な連携の取組により、豊かな関わりや交流を深める機会を充実させることができた。外部人材の活用も積極的に行った。来年度は小中同一校舎となる特徴をさらに生かしていく。 ▲あいさつについて、保護者の数値が低い。日常生活においてよりよいコミュニケーションを図るためにも、保護者の協力を得たり、中学校との連携を推進したりしながら、相手意識をもった挨拶ができるように意識化を図っていく。
			(保)お子様は、進んであいさつをしていますか。 (保)学校は、園小中連携による豊かな関わりや交流を深める機会の充実に努めていますか。	7 6 % 9 4 % ↑		
郷土愛	我が国やふるさと浦安・明海地区に誇りを持ち、多様な文化を大切にする心や態度を育てる。	○町探検や地域人材を生かし、地域を教材とした教育活動を実施し、保護者や地域との関わりを深める。	(児)マナーを守り、地域にあるもの、皆で使うものなどを大切にしていますか。 (児)きまりや約束を守っていますか。 (児)地域の活動に、進んで参加していますか。	9 3 % ↓ 8 5 % 6 7 %	明海オヤジの会をはじめ、PTA、社会福祉協議会海浜2支部、敬老会など、学校を支援してくださる団体があることは、明海地区の最大の強みと考えます。 クラス数が減少し、保護者の数も減少しているため、これらのボランティアの方々の力を大切にしていきたいです。	◎地域への活動の参加についての児童の数値は昨年度に比べ4%増加した。おやじの会のイベント等により、子どもたちの地域活動への意欲関心を高める取組を推進していただいている。学校においても地域を教材とした教育活動に取り組んでいる。 ▲公共施設の活用状況や使い方のマナーに対し、昨年度に比べて児童の数値が低くなっている。今後も道徳科や学級活動の時間等に指導を行いながら、より公共物を大切にする心を育てていく。
			(保)お子様は、公共マナーを守り、地域の環境や施設等を大切にしていますか。 (保)お子様は、きまりや約束事を守っていますか。 (保)お子様は、地域の活動や行事に進んで参加し、地域の方と交流していますか。 (保)保護者として、学校の行事やPTA活動などに積極的に参加していますか。	9 7 % 8 9 % 7 4 % 7 6 % ↓		
学校の教育目標の具現化	自ら学び 認め合い たくましく生きる児童の育成を目指す。	○人間性豊かな児童の育成のため創意工夫のある教育活動の推進に努める。 ○明海中学校との連携活動や明海小学校、明海認定こども園等との交流活動を行う。	(児)学校へ行くのは楽しいですか。 (児)今、自分には自信(得意なものなど)がありますか。 (児)学校をきれいにしようと、掃除をがんばっていますか。 (児)困った時やなやんだ時に、相談できる人がいますか。	8 0 % 9 2 % 8 8 % ↓ 8 1 %	学校生活の安心安全がしっかりと確保され、学校行事や活動が適切に周知されていることは、最大の強みであると思います。児童が楽しく学校に通えているか、困った時や悩んだ時に相談できる人がいるか、についての質問への回答が相対的にやや低い点が気になります。 また、児童自身は自己肯定感が高いにもかかわらず、保護者目線では、自分の子どもに得意なものがなく、自信がないため自己肯定感が低いと感じている点も気になります。才能や個性、長所を発見し、成功体験を実感できる環境、ピアサポートを通じて自己表現できる学校づくりを目指し、児童が自分らしく生きていく力を身につけていくことを期待しています。	◎学校が安心して通わせられる環境になっている項目について、保護者から引き続き高く評価していただいている。今後も児童に寄り添った支援や保護者の方も含めた相談しやすい環境を整え、安心・安全な学校づくりに努める。 ◎自分に自信(得意なものなど)があるかについては、児童の数値が昨年度と同様に高い結果を維持している。主体的に学ぶことができるような課題の設定や学び方、自ら選択する場を工夫した指導に引き続き取り組んでいく。 ▲児童の掃除の取組の数値が昨年度と比べ、減少している。来年度は小中でより一体的に校舎を使用することから、清掃活動や校舎を大切に使うことについて、中学校との連携を深めた実践をしていく。
			(保)お子様は、学校へ楽しく通っていますか。 (保)お子様は、自分に自信(得意なものなど)がありますか。 (保)教職員は、子どもの人権を尊重し、お子さんが困ったときなど適切に対応していますか。 (保)学校は、子どもたちが安心して通わせられる環境になっていますか。 (保)学校は教育活動や行事などを公開したり、学年だよりや学校だより、ホームページなどを通して情報を提供したりしていますか。	9 1 % 8 4 % 9 0 % 9 6 % 9 7 %		

○ その他、保護者の皆様の意見

- ・小中合同校舎での学校生活や支援学校の開校が、子供たちにとってプラスになるように対応をお願いできればと思います。
- ・次年度からの校舎移転に伴い、子どもたちが不安なく過ごせるようにしてほしい。

小学校機能の移転について、ご理解いただきながらも、不安を感じている方もいらっしゃいます。今後さらに「地域に信頼され、地域とともにある学校」「安心して子どもを託すことのできる学校」となるよう努めてまいります。